

女川原子力発電所１号機 第１７回定期検査 主要機器点検情報（平成１９年２月）

設備名	設備区分	実施内容	検査区分	概要
残留熱除去海水系	○	—	—	- 平成１９年２月２０日にタービン建屋地下３階配管スペースにある排水受口（以下、「ファンネル」という。）から海水が溢れていることを発見しました。 - 当該ファンネル上流にある残留熱除去海水系のドレン弁については、今定期検査中に微少な漏えいが確認されたことから、ドレン配管の端部に仮設の閉止栓を取り付け、今定期検査中に詳細な点検を行うこととしておりました。その後、当該ドレン弁からの漏えい量が増加し、閉止栓のすき間から漏れた海水が、ファンネル内に飛散し、泡状となってファンネルの蓋のすき間から外へ溢れ出たものと推定されます。 - 当該ドレン弁については新品に交換しました。 （詳細については、個別情報Ｎｏ．１参照）

【設備区分】○：安全上重要な系統（原子炉圧力バウンダリ、原子炉本体、非常用炉心冷却系等）

△：それ以外の系統

【検査区分】定：法令に基づき国または独立行政法人 原子力安全基盤機構が実施する定期検査

事：法令に基づき当社が実施する定期事業者検査

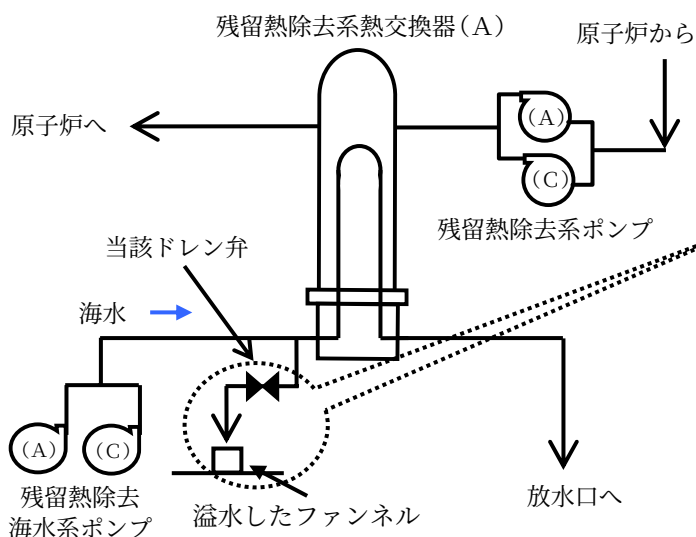
点：保守管理に基づく点検・補修等

女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

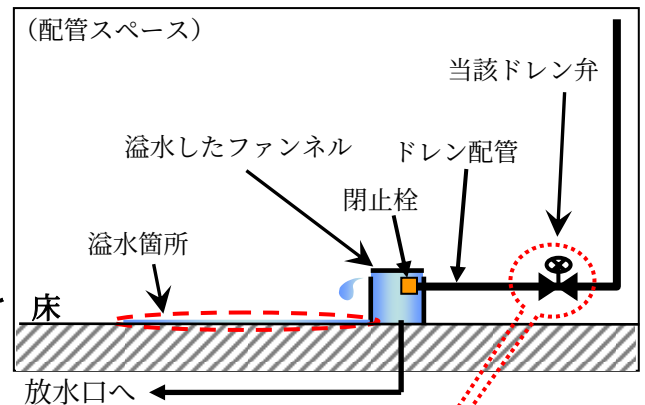
No. 1

(平成19年2月分)

号	機	1号機		定 期 検 査		第17回定期検査	
件	名	タービン建屋地下3階配管スペースにおける海水の溢水について					
月	日	平成19年2月20日(火)				発 生	発 見 確 認
場	所	タービン建屋	設 備	残留熱除去海水系		設備区分	安全上重要な系統
設備概要		残留熱除去海水系は、原子炉より発生する崩壊熱除去等を目的とした残留熱除去系の系統水を海水により冷却する系統です（当該系統は放射性物質を含まない系統）。					
所	見	- タービン建屋地下3階配管スペースにある排水受口（以下、「ファンネル」という。）から海水が溢れ、ファンネルの周辺に約5m×約5mの範囲で広がっていることを発見しました（2月20日）。 - 当該ファンネル上流にある残留熱除去海水系のドレン弁については、今定期検査中に微少な漏えいが確認されたことから、ドレン配管の端部に仮設の閉止栓を取り付け、今定期検査中に詳細な点検を行うこととしておりました。その後、当該ドレン弁からの漏えい量が増加し、閉止栓のすき間から漏れた海水が、ファンネル内に飛散し、泡状となってファンネルの蓋のすき間から外へ溢れ出たものと推定されます。 なお、溢れ出た水は海水のため放射性物質は含まれておりません。 - 当該ドレン弁を分解点検した結果、弁体に海水による浸食が見られたことから、当該ドレン弁については新品に交換しました（2月22日）。					



残留熱除去海水系 系統概略図



溢水状況概略図



当該ドレン弁 (弁体) 状況写真